



林誠司先生

環境学 の 授業拝見!

理学、工学、人文社会科学、異なる専門領域の学生
がともに学ぶ環境学研究科ならではの授業です。

【今回の授業】生物圏進化学特論 地球環境科学専攻 林 誠司 講師

生物圏進化学特論は生物圏の進化、変遷に関連した基礎的事項、「種」、「種分化」、「生態系」、「(古)生物地理」などについて講究する授業です。「数百万、時には数千万いると見積もられる地球上の種が、どう進化した多様性を持つに至ったかを講義し、議論しています」と林先生。生物分野以外、時には都市環境学専攻の学生が受講したこともあり、受講生のバックグラウンドを考慮した上で、どんな専攻の学生にも有用性が高くなるよう、講義に工夫を加えています。「今年は日本人の学生ばかりだったので輪読形式に。他分野にも共通して使えるような科学英語のティップスの紹介などにも時間を割いています。留学生がいるときはスライドなどを用いた講義形式にしたりします」。



生物圏の進化を知ることは、現在の生物圏の状態を評価すること、将来の生物圏を予測することの礎となると林先生。「この授業を通じて、将来生態系の保全やアセスメントなど環境の仕事に携わる方だけでなく、他分野で活躍される方が、「生態系を構成する一個体のホモ・サピエンス」としてのライフスタイルやマインドセットの選択をする上でも、役に立つ情報や考え方を提供することができれば、と思っています」。



小野 詩織さん Shiori Ono

地球環境科学専攻 地質・地球生物学講座

この授業では、地球環境と密接に関わっている地球上の生物について、環境変化や時代変化に伴う形態変化や生息場所の変化など、「生物の進化」の観点から学んでいます。毎週、学生全員で生物の進化史や生物多様性に関する英語論文を輪読し、林先生の解説を踏まえながら論文の内容の理解を深めています。地球の進化とともに、生物も自然環境に適合しながら生き延びてきたことを実感できる、スケールの大きい授業内容です。

また、林先生は授業内容だけでなく、私たちが英語で論文を書く際や読む際にポイントとなる英単語・熟語なども毎回教えてくださいます。人数は少ないですが、学生と先生の距離が近い点もこの授業の魅力です!